学校評価計画

平成２９年度　学校自己評価シート

福生市立福生第二中学校　校長　小出　宏　印

学校教育目標　　人間尊重の精神に基づき、創造性に満ち。心身の向上をめざして、他と協力できる個性豊かな実践力のある人間を育成する。
〇豊かなかな心と知性を養う　　・強い意志と体力を育てる　　・勤労意欲と責任感を培う　　（〇印は、本年度の重点事項）

目指す学校像（ビジョン・ミッション）　　保護者及び地域と協働し、生徒一人一人が将来、社会的・職業的に自立し、役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための基盤となる力を身に付けることをめざす。
めざす生徒の姿 ― 義務教育修了までに身に付けさせたい姿勢・態度 ―
＊ 主体的に課題に取り組み、考えを深め表現しようとする　　＊ 自他の生命と人権を大切にし、心身を鍛え健康に生活しようとする　　＊ 将来に展望をもち、自分らしい生き方を追究する

【目指す学校像】	【目指す教師像】	【目指す生徒像】	【その他　特記事項】
生徒一人一人が大切にされ、成長する機会を与えられる学校。また、生徒・保護者・地域社会から信頼され、協力関係に支えられた学校。	・生徒一人一人の可能性を引き出し伸ばすことのできる教師 ・常に教師としての力量を高めようと努力する教師 （生徒理解、学力向上、保護者・地域連携）	・主体的に課題に取り組み、考えを深め表現しようとする ・自他の生命と人権を大切にし、心身を鍛え健康に生活しようとする ・ 将来に展望をもち、自分らしい生き方を追究する	

領域例：学力向上策、生活・進路指導策、人材育成策、研究研修策、学校運営策、特色ある学校づくり策等

領域	三ヵ年経営目標	本年度経営目標	目標達成のための方策	取組指標（教職員の取組）	取組自己評価				成果指標（児童・生徒等の変容・成果）	成果自己評価				分析・改善策
						当初	中期	年間	評語		当初	中期	年間	評語	
学習指導	〇言語活動を充実させ、思考力・判断力・表現力を育む授業を行う。 〇すべての授業でユニバーサルデザイン化された授業を行う。 〇保護者の協力のもとにすべての生徒の家庭学習を定着させる。 指標 通知表評価 生徒アンケート 保護者アンケート 各学力調査結果 都立入試得点	・「言語活動の充実」をテーマにした校内研究を充実する。	本校の研究テーマに基づき全教科において研究授業を実施する。	〇 教員の達成状況　１００％ Ａ　〃　８０％ Ｂ　〃　５０％ Ｃ　〃　５０％未満	目標	Ｂ	Ａ	〇		〇 生徒・保護者の肯定評価　９０％以上 Ａ　〃　８０％ Ｂ　〃　６０％ Ｃ　〃　６０％未満	目標	Ｂ	Ａ	〇	
					達成						達成				
		・本校の「共通統一支援」の見直しと実践を行う。	見直しを行った「共通統一支援」の確実な実施。	〇 教員の達成状況　１００％ Ａ　〃　８０％以上 Ｂ　〃　５０％ Ｃ　〃　５０％未満	目標	Ａ	〇	〇		〇 生徒・保護者の肯定評価　９０％以上 Ａ　〃　８０％ Ｂ　〃　６０％ Ｃ　〃　６０％未満	目標	Ｂ	Ａ	〇	
					達成						達成				
		・家庭学習の定着に向けスモールステップを意識した課題指示を徹底する。	適切な量の家庭学習を課すとともに、スモールステップを意識した指導を展開する。	〇 教員の達成状況　１００％ Ａ　〃　８０％以上 Ｂ　〃　５０％ Ｃ　〃　５０％未満	目標	Ａ	〇	〇		〇 生徒・保護者の肯定評価　９０％以上 Ａ　〃　８０％ Ｂ　〃　６０％ Ｃ　〃　６０％未満	目標	Ｂ	Ａ	〇	
					達成						達成				
生活・進路指導	〇生徒一人一人が自他の生命や人権について考えを深め、より良い学校（社会）づくりに参加する。 〇キャリア教育における基礎的・汎用的能力の伸長を図る。 指標 生徒アンケート 保護者アンケート 上級学校合格状況	・「いじめを許さないまち ふっさっ子宣言」に基づく活動を軸とした自治的、自主的な取組をを実現する。 ・培うべき基礎的・汎用的能力を明確にし、活動内容を工夫して成果を検証する。	「ＳＮＳ福生二中ルール」を軸とした自治的、自主的な生徒会活動が展開される。	・「ＳＮＳ福生二中ルール」の見直しと更新が生徒の自治的活動として展開される。 ・生徒会各専門委員会の活動活性化。											
			生活ノートに計画的に生活するなどの要素を盛り込み、より効果的な活動とする。また、特別活動、総合的な学習などについて、キャリア教育の視点から見直しを行う。	・生活ノートが有効活用され、計画的に学習する生徒が増加する。 ・特別活動、総合的な学習などについて、キャリア教育の視点から見直される。 ・都立第一志望合格率が９０％以上になる。										
学校運営	学び続ける、学び合う職員文化の醸成 指標 前年度の反省を活かした起案と実施	主幹、主任のリーダーシップを高め、ＯＪＴの充実を図る。	・教科、学年、分掌ごとに育成担当者・目標を決め実施する。 ・管理職は育成担当者と連携し課題等を把握し指導助言する。	〇 目標の達成状況　１００％ Ａ　〃　８０％以上 Ｂ　〃　５０％ Ｃ　〃　５０％未満	目標	Ｂ	Ａ	〇							
					達成										
教育課題	スーパーアクティブスクールの活動充実	・生徒が気軽に取り組める運動の定着を図る。 ・生徒が体を動かすことを好み、健康を意識した生活を心がけるようになる。	・ロープスピッキングの取組充実。 ・家庭との協働による睡眠、食事の充実。	〇 ロープスキッピング、睡眠・食事の２点が実現。 △ １つの内容が実現。 × １つも実現せず。	目標	△	△	〇							
					達成										
	外部機関との連携	コミュニティスクール（以下ＣＳ）登録を視野に入れた地域社会とのネットワークづくりを行う。	・避難所運営連絡会の実施。 ・年度末までにＣＳ準備委員会のメンバー、ＣＳ構想を具体化する。	〇「避難所運営連絡会」の開催、ＣＳ関連の準備、２点が実現。 △ １つの内容が実現。 × １つも実現せず。	目標	×	△	〇							
					達成										